

令和4年4月25日

令和4年度 三原市一校一貢献事業実施計画書

三原市立本郷中学校
校長 國川 康俊

1 「三原市一校一貢献事業」をどのように教育課程に位置づけ、何を狙うのか。

新型コロナウイルス感染拡大状況によるが、ボランティアを募り、地域に向いて、献血活動の呼びかけや近くの河川清掃を行う取組を引き続きおこない、本郷地域の貢献に励んでいきたい。また、部活動では、吹奏楽部において、地域行事や各コミュニティセンターのまつりなどに出場し演奏を披露し、地域行事の活性化や高齢者福祉に貢献していく。生徒たちが、地域に出ていくことで、地域愛や感謝の心をもつことを目指す。

2 「三原市一校一貢献事業」を実施して期待される効果

平成30年度の豪雨災害で被災した際、地域からたくさんの援助をいただいた。あれから4年の月日が経ち、災害復旧も進み、生徒の中には当時の記憶が薄れ始める心配がある。再度、生徒が地域に積極的に出向き、感謝の気持ちや、応援される本郷中学校を作り上げていきたい。また、生徒が地域に出向いた時に、直接「ありがとう」「ご苦労様」などと声をかけていただく事によって、より地域に対して愛着をもったり、何か恩返しをしようと思ったりする気持ちを育てていきたい。

3 実施計画

以下の各地域行事に参加する。

- 7月 北方コミュニティまつり (吹奏楽部)
- 10月 三原臨空商工会まつり (吹奏楽部)
- 11月 船木コミュニティふるさとまつり (吹奏楽部)
- 11月 地域クリーン活動 (全生徒)
- 1月 献血ボランティア (生徒会)
- 2月 南方ふれあいまつり (吹奏楽部)

4 成果指標

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている割合」55%以上